

広報版「防災きこない」 ～ご家庭でできる停電への備え～

地震や暴風雪などの自然災害では、大規模な停電が発生することがあります。昨年（2022年）12月には道東の紋別市で、低気圧の影響で記録的な大雪となり、倒木が原因で大規模停電が発生、全面復旧までおよそ2日半かかりました。

日常生活で多くの電化製品を使用している私たちにとって、停電時の電力の確保は大きな課題です。特に災害時には、安否確認や災害情報を入手する手段としてスマートフォンやテレビのほか、季節によっては熱中症や防寒対策のための冷暖房器具の使用に電力の確保が必要となります。

また、自家用車があれば、テレビやラジオでの情報収集、スマートフォンの充電ができるほか、エアコンでの暑さ寒さ対策も可能です。燃料が半分程度になったら、早めの給油を心掛けましょう。

災害の状況によっては停電の復旧までに時間がかかることも想定されますので、平時からご家庭における停電対策を検討しておきましょう。

災害はいつ起こるか分かりません。日頃からの備えを大切に、万が一災害が発生した場合にも落ち着いて行動できるよう準備をしておきましょう。

○停電に備えて用意しておくもの

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ろうそく・ランタン |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ・ガスボンベ | <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ（電池式） |
| <input type="checkbox"/> 乾電池 | <input type="checkbox"/> 携帯電話用モバイルバッテリー |
| <input type="checkbox"/> 季節に応じた対策グッズ（防寒具等） | <input type="checkbox"/> 非常食・飲料水等 |

※詳しくはハザードマップの11ページ「非常持出品・非常備蓄品を備えよう」をご参照下さい。

■お問い合わせ 総務課総務財政グループ ☎01392-2-3131



屋根からの落氷雪事故防止などのお願い

毎年、冬になりますと、沿道建物等からの落氷雪による死傷事故が多く発生しています。

皆さんも、冬期間の生活にはご苦労されていると思いますが、冬期間の通行を円滑にし、事故を無くするため、特に、次のことに注意するようにお願いいたします。

■落氷雪事故の発生が懸念されるような沿道建物等については、雪止めを設置するようにしてください。

■既に雪止めが設置されている場合であっても、釘等の錆、老朽化等による破損が原因で落氷雪事故が発生することもあるため、必ず点検し、破損等が発見された際は早急に修繕するようにしてください。

■落氷雪事故は、気温がマイナス3からプラス3程度のときに発生しやすいという特徴があるため、早めに除雪するとともに、除雪の際には必ず複数人で行い、歩行者や遊んでいる子供等に十分注意するようにしてください。

■落氷雪があった場合は、直ちに負傷者がいないか確認するとともに、歩行者等の通行の支障にならないように、直ちに除去してください。

■交通事故及び交通障害防止のため、屋根からの落氷雪や敷地内の積雪を道路に出さないようにしてください。

■軒下を通行するときは、屋根からの落氷雪に十分注意するようにしてください。

■ビルの壁、窓枠、突出看板等からの落氷雪は少量でも危険であるため、早めに付着した氷雪の除去を行うようにしてください。

また、落氷雪の除去の際には、歩行者への十分な安全対策を行うようにしてください。

北海道開発局・北海道・北海道警察